

Art Exhibition

THE OPEN MIND OF LAFCADIO HEARN

HOMAGE TO LAFCADIO HEARN

小泉八雲来日120年記念事業

ラフカディオ・ハーンの開かれた精神

ラフカディオ・ハーンに捧げる造形美術展

[企画書]

2010年10月10日回—11月3日回

松江城、小泉八雲記念館(島根県松江市)

2010年11月6日回—11月14日回

カラコロ工房、小泉八雲記念館(島根県松江市)

趣旨

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、1850年6月27日、アイルランド人の父チャールズ・ハーンと、ギリシャ人の母ローザ・カシマチとの間に、ギリシャのレフカダ島で生まれました。

八雲は、幼いころ両親と別れ、幼年時代をアイルランドで過ごした後、世界各地を旅し、そして最後、1890年に日本に到着しこの国を安住の地としました。

彼はその独特の目を通して日本を客観的にとらえ、理解しそして愛しました。異文化や人種などに偏見を持たない、彼の開かれた心を持って世界を見つめる態度に、今を生きる私たちが共感し学ぶべきことがたくさんあると考えます。

松江は八雲が最も愛した町のひとつです。

今年、小泉八雲の生誕160年・来日松120年にあたり、この記念すべき年に「八雲の世界・精神性」をアートで表現するという造形美術展を、松江のシンボル松江城と小泉八雲記念館で開催することにしました。

昨年10月には、ギリシャ・アテネのアメリカン・カレッジで、世界7ヶ国47名のアーティストによる同名のハーン・アート展が開催され、会場を訪れた多くの人はもちろん、出展した作家たちにも大きな感動と満足感を与えました。

日本で、このようなアートで小泉八雲を表現するのは斬新な試みであり、小泉八雲というひとりの文学者を通して、世界と日本のアーティストがその「オープン・マインド」を表現するというユニークな美術展が実現することになります。

来日120年の今年、小泉八雲の開かれた精神を再評価し、感謝と敬意を捧げるものです。

The Open Mind of Lafcadio Hearn について

ギリシャ在住のアート・コーディネーター、タキス・エフスタシウ(Takis Efstathiou)氏がニューヨーク在住のアーティスト、野田正明氏と1996年ごろから温めてきたプロジェクトであり、タキス氏がつけたタイトルに野田氏がモニュメントを作成し、2009年10月にアテネのアメリカン・カレッジのキャンパス内にそのモニュメントが設置されました。また、世界のアーティストに呼び掛けて作品を集めた同名のタイトルの美術展が大学のギャラリーで開催され、大変注目を集めました。

今年の10月、野田氏によるモニュメント《The Open Mind of Lafcadio Hearn》が、松江市にも寄贈されることになっています。

実施内容

この造形美術展は、日本人作家による約20点と海外在住作家による約10点、合わせて約30点あまりの作品を松江城天守閣に展示するもので、小泉八雲の精神性を表現するという点においては昨年のギリシャのアメリカン・カレッジの流れをくむものですが、日本国内では極めて新しい試みです。アメリカン・カレッジからの申し出により、その作品数点も展示する予定です。

松江城天守閣で、このような展示が行われるのは初めてのことで、松江市の理解と協力を得て実現するものです。松江城は築城400年を迎え、当時のたたずまいをそのまま残す美しいお城で、その3階と4階層を使ってコンテンツポラリー・アートの作品展示をすることは、作家・来場者にとってとても印象深いものになると思われます。また、10月は観光シーズンでもあり、小泉八雲やアートの愛好者のみならず、多くの方にこの美術展を楽しんでいただけるものと確信しています。

また、松江城は急階段のためご覧いただけない方のために、時期をずらしてカラコロ工房の地下金庫室で同じ作品を展示します。より多くの方に楽しんでいただくために、2期に分けての開催を決めました。

小泉八雲記念館では、小泉八雲の開かれた精神性(オープン・マインド)いいかえれば「共生」や「寛容」といった彼の精神性を追求し、それを感じることでできる作品や原稿、新聞記事、手紙などを中心に展示を行います。記念館と松江城の両方を見ていただくことにより、このタイトルである「The Open Mind of Lafcadio Hearn」を理解していただけるものと思います。

関連事業他

かみありづき ハーンの神在月——全国・小泉八雲の会&ミュージアムの未来を考えるサミット

2010年10月9日(土)―10日(日)

松江市総合文化センター

同実行委員会が同時開催するもので、全国の小泉八雲の会と記念館や関連の展示品を持つミュージアムが一堂に松江に会し、小泉八雲のネットワークの構築に向けて話し合うシンポジウムやグループディスカッションを行う予定です。これによって、小泉八雲を通して参加団体の目指す姿や未来への連携を考えていくこととなります。

小泉八雲の精神——講演会とイメージアート体験

2010年10月11日(月) 島根県民会館

松江しんじ湖ロータリークラブが主催して企画実施するもので、松江城での美術展に合わせて開催します。市内の小学生を対象に、モニュメント制作者の野田正明氏がワークショップの講師を務め、子供たちの自由な表現力を引き出し、子どもたちはヘルンさんの世界を描き、その作品を展示します。

松江流の会 作品展示販売

「松江流の会」は、地元で活躍する伝統工芸家やアーティストたちで構成される会で、今年は、このThe Open Mind of Lafcadio Hearnの美術展に合わせ、テーマをラフカディオ・ハーンに決めて作品を作り、展示・販売する予定です。

鮮烈なる色彩 小泉清

2010年9月30日(木)―12月13日(月)

島根県立美術館 展示室5

小泉八雲の三男・清の画業をふりかえる、島根県立美術館コレクション展です。

最新情報につきましては、下記をご覧ください。

<http://www.yakumokai.org/> (八雲会ホームページ)